

当院から往診し超音波検査を行なった患者様

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

.....

在宅継続か病院紹介かを決めるために往診で超音波を使用することの有用性

【研究目的】

往診時の超音波検査が在宅継続か病院紹介かの判断に役立つか調べます。

【対象となる方】

2021年7月から往診時に超音波検査をおこなった患者様。

【該当期間】

2021年7月から往診時に超音波検査を行なった際の情報を調査対象とします。

【研究の背景】

海外では在宅の緩和医療を続けるために、超音波検査が役立つとの報告が出てきています。

しかし、往診時に、在宅診療を継続するか病院へ紹介するか判断する上で、超音波検査が役立つかどうかは、日本でも海外でもまだ不明のままです。

【研究の方法】

● 利用する情報

電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。※他機関への情報提供はしません。

● 個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除いたします。

また、研究成果は学会、医学誌等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

● 本研究の資金源（利益相反）

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【当院の研究責任者（所属）】

水間美宏（内科・訪問診療）

【問い合わせ先】

電話：078-841-5731(代) 担当者：水間 美宏